

# 平成26年度 学校関係者評価について

栃木県立今市工業高等学校

## 1 評価委員

学校評議員（5名）、校長、教頭、事務長、教務、副教務、各科長、各部長

## 2 評価方法等

- (1) 授業見学、生徒研究発表会見学を実施し、生徒の様子や教員との関係について客観的見地からの意見を聴取した。
- (2) 自己評価の結果を踏まえて、評議員と本校職員が様々な角度から討議した。

## 3 評価結果（主な意見）

- (1) 創立50周年の節目の年を終え、次なる発展に向けた新たなスタートを切った。地域から大きく期待されているので、今後も、地域との関わりを持ち地域で活躍する人材を育成することを目指していただきたい。
- (2) 公開授業はよい印象であったが、さらに授業の充実を図っていただきたい。
- (3) 創立50周年記念式典の生徒の態度がとても素晴らしかった。特に、校歌は素晴らしかった。
- (4) 今工祭はよい印象であったが、参加団体によって雰囲気は様々であると感じた。
- (5) 生徒発表発表会では、発表にいろいろと工夫がされており、発表の仕方もうまく、とても素晴らしかった。今後も高い目標を持って、失敗を恐れず、学習に意欲的に取り組んでいただきたい。
- (6) 一般の方も学校の特色ある教育活動をホームページ等でよく見ている。今後も、ホームページや新聞等を利用して、外部へ各種情報を積極的に発信していただきたい。
- (7) インターンシップ受け入れ企業の方からきちんと指導されていると聞いている。今後も、事前・事後指導を徹底していただきたい。
- (8) 日光市との官学連携やJR駅前イルミネーションなど、地域連携事業をさらに充実させていただきたい。
- (9) 校内での服装はきちんとしていると思うが、さらなる指導をしていただきたい。
- (10) 学校評価アンケートの結果から課題となっていることをよく精査し、改善していただきたい。

## 4 評価結果に基づく今後の改善方策

- (1) 地域との連携を強化し地域から信頼される学校づくりの推進
- (2) 特色ある教育活動のさらなる充実
- (3) 学校からの積極的な情報発信の充実